

キラリと笑顔が輝くまち

# とばぐらしの魅力を再発見

企画財政課移住・定住係 ☎(25) 1227



市では、移住相談のワンストップ窓口を設置し、都市部からの移住希望者を積極的に受け入れるため、切れ目ないきめ細やかな移住支援に取り組んでいます。

鳥羽へ移住してイキイキと生活している移住者のかたにスポットを当て、普段当たり前に感じている暮らしの中にある魅力を再発見したいと思います。

今回は、令和元年10月に東京都から鳥羽市へ移住し、地域おこし協力隊として活動する佐藤千裕さんに鳥羽市での生活についてお話をさせていただきました。

地域おこし協力隊とは、都市部から地方へ移住し、農林水産業への従事や地域の生活支援など、その地域の課題解決に向けた「地域協力活動」を住民のみならず共に行いながら、その地域の活性化と定住を図る取り組みです。



地域おこし協力隊  
石鏡町活性化～海女のまち暮らし～担当

佐藤 千裕さん プロフィール

- ・福島県二本松市出身
- ・武蔵野美術大学芸術文化学科卒業後、同大学教務補助員として勤務
- ・令和元年10月に地域おこし協力隊として石鏡町へ移住し、現在に至る

## 鳥羽に移住するまでの生活は？

都内の美術大学を卒業した後、同大学の補助員をしていました。大学の周りは森が残っていて、雑木林に囲われた道を通っていました。家の近くにも自然が多く、大きな木や畑なんかもありました。東京というとビル街のイメージがあるかもしれませんが、西東京は田舎育ちのわたしには生活しやすい場所だったと思います。それでも、都心に出たときの慌ただしさや人の多さには、年々違和感が増してきました。この環境で仕事をしたいと思うようになってきました。

## 地域おこし協力隊になろうと思った理由は？

学生のときは海や自然をテーマに作品を作っていて、自然の中で仕事をすると海女という生業に漠然とした憧れがありました。海女のことを調べていたら鳥羽市の地域おこ



いじかあさいちプレオープンイベントを開催しました

し協力隊の紹介記事と募集要項に目が留まりました。海女は地元の人でないとなじまない職業だと思っていたので、まったくよそ者のわたしにもその道が開けることに驚き、「わたしにもできるかも」と、期待する気持ちが湧いてきました。それと同時に覚悟を求められていることへ身が引き締まる思いとなりました。鳥羽市は協力隊の先輩海女さんたちの活躍が目覚ましく、東京でのイベントを開催していたときにお話を伺いに行きました。市役所と地域との連携もすっかりしていて、外からの人間を受け入れる態勢が地域全体で整っているように感じ、そのことが踏み出すきっかけとなりました。

**【移住する前の鳥羽（石鏡）の印象は？】**

正直なところ、応募する前まで鳥羽市のことはよく知りませんでした。石鏡町の名前も初めて聞いて、石の鏡なんてキレイな名前だなあとという感じでした。

鳥羽の海女に興味を持ってからは、豊かな海の自分の知らない世界が広がっているように感じました。海とは接点のない内陸育ちなので、生活のすぐ傍らに海があることが不思議で魅力的でした。

**【実際の鳥羽（石鏡）での生活、人づきあい、食べ物って？】**

借家の環境が整うまで、町内会長さん宅にお世話になっていました。食卓に並ぶ魚介類は、今まで食べていたもの

は何だったのかと思うくらい、新鮮で驚くほどのおいしさでした。カキ飯やワカメの莖、イセエビもこっちに來てから初めて食べました。

近所のかたもよくご飯に誘ってくださって、とても良くしていただいています。アコヤガイの貝柱なんかは、真珠養殖の伊勢志摩ならではかもしれません。毎日のように初めての味を堪能できて、こんなにも知らないものばかりなんだと驚いています。

借家の片付けは市役所と町のみなさんで手分けして行ってくれて、ペンキ塗りや障子張り、床の張り替えも手伝ってもらいました。町のみなさんは本当に温かく、とても親切にいただいています。

**【鳥羽（石鏡）での暮らしの魅力は？】**

やはり海が身近に感じられることです。どこを歩いてもきれいな青い海が見えますし、石鏡の狭い路地には海女さんや漁師さんたちの道具が干してあったり、家の壁にはアワビやサザエの貝殻が埋め込んであったりと、町内を散歩しているだけで海の暮らしの風情が感じられます。

それと人が温かいことですね。あいさつすると、「海女さんしにきたんかーがんばれよー」とみなさん声をかけてくださいます。

**【地域おこし協力隊での活動「エゴノドを教えたいかな」】**

着任してすぐに、石鏡町で朝市を開催する企画が進んでいたのので、早速イメージイラストとロゴマークの作成を担当させていただきました。



いじかあさいちイメージイラスト



いじかあさいち  
ロゴマーク

イラストやロゴマークのデザインは初めての挑戦でしたが、石鏡町のかたにも朝市のイメージが伝わりやすく、外部からのお客さんにも楽しそ

うなイベントに思ってもらえるように描きました。

みなさんからも石鏡町がおしゃれになってる！なんて声を掛けていただいて大変ありがたいです。

**【地域おこし協力隊の活動でどんな活躍をしていきたいか？】**

まずは地域を知ることが大切かなと思っています。まだまだ知らないことばかりなので、いろんなところに足を伸ばしたいと思っています。そこから見えてきたものについて、地域のかたに喜んでもらえるような活動がしたいです。美術的な面ならデザインを活かして、ブランディングをすることもできるかもしれません。それ以外でも、ゴミ拾いのようなことからでも、みなさんのために何か力になれることがあればと思います。

受け入れてくださった石鏡町のみなさんにまずお礼を伝えたいです。

海女になることが自分の夢なので、石鏡町で夢を叶えられたらと思います。そして、お世話になっている感謝を活動していく中で少しでも伝えられたらと思います。



高台からの景色  
石鏡島が見えます



地域おこし協力隊の佐藤創さんが作った動画「うみねこ いじかさんぽ」で声の出演をしました

さらり笑顔が輝く鳥羽で暮らし

●とばぐらしのフェイスブック  
鳥羽市へ移住・定住するための情報満載のフェイスブックもご覧ください。  
<https://www.facebook.com/tobagurashi/>